

令和8年度 第1回学校関係者評価委員会議事録

鹿児島県立鶴丸高等学校

1 日 時 令和8年7月8日（水）15：00～16：30

2 場 所 本館3階 研修室A

3 出席者 計17名

評価委員（5名）

- ・本校同窓会副会長（卒業生代表）
- ・建築事務所代表取締役（地域代表）
- ・私立大学教授（地域代表）
- ・公立中学校長（中学校代表）
- ・本校PTA副会長（保護者代表）

学校側出席者（12名）

- ・校長 ・教頭（2名） ・事務長 ・教務課主任 ・生徒指導課主任
- ・保健課主任 ・進路指導課主任 ・1学年主任 ・2学年副主任 ・3学年主任
- ・教務課副主任

4 会 順

- （1）校長あいさつ
- （2）学校評価実施要項について
- （3）学校経営の概況について
- （4）信頼される学校づくりについて
- （5）いじめ防止対策について
- （6）各課の課題と取組

5課：教務、生徒指導、進路指導、保健、事務 ※各学年は2回目に行う。

（7）質疑応答・各委員から

5 質疑応答

（1）学校評価実施要項について

- ・特記事項なし。

（2）学校経営の概況について

- ・スクールポリシーの「質実剛健」の説明の一文「困難を乗り越えようとする強さとしなやかさ」の語尾に、「～を身につける態度」等を追加した方が、その他の文とも整合性がとれるのではないか。

(3) 信頼される学校づくりについて

- ・特記事項なし。

(4) いじめ防止対策について

- ・特記事項なし。

(5) 各課の課題と取組

- ・不規則な天候で熱中症が心配だが、生徒はマイボトルを持ってきてよいか。
→ 持ってきてよい。
- ・他県の小学校で火災事故があったが、本校の火災設備は使用ができるのか。
避難滑り台などがあるか。(PTAで話題に上がった)
→ 避難訓練において、全校生徒に向けて消防から消火器の使用法等について説明していただいた。また、係の生徒には消火栓の使い方も説明した。
避難滑り台はないが、緩降機を設置している。本校は両端にも外階段があり、避難経路の確認や火災の原因となるコンセント等の埃や老朽化についての確認は行った。
- ・自転車置き場の電気は自動でつくのか。(夜間つかなかったので)
→ 生徒が利用する時間では自動的につく。
- ・単元テスト導入3年目とあるがどのような形になったか。その効果はどうか。
中学校では順位等も気にする保護者も多い。
→ 以前は中間考査、期末考査があったが完全に廃止した。実力考査は年4～5回実施。単元テストは教科ごとにそれぞれ授業内で実施。
課題は、テスト期間がなくなったので集中して学習する期間がなくなった。その代わり、計画的に継続的に学習する習慣が付き、またテストの周期が短くなったので振り返る期間が短くなった。順位等は従来から開示はしていない。
- ・校則の見直しは中学校でも実施したが、生徒に考えさせたところ建設的に意見を出し、よくできたので、高校でも是非実施しては。

(6) 各委員から

- ・生徒の将来に向けて支えて下さる指導に感謝している。学校を愛し、多様な社会で活躍する子ども達を育むよう、先生方も働き方改革を推進しながら今後もよろしくをお願いしたい。
- ・授業見学の中で協働的な学びをしている授業がいくつかあり、互いに意見を出し合い良い指導方法だと感心した。
- ・子供たちが社会に出た後で役立つので、教科の枠を超えた進路指導は有難い。
- ・大学合格状況がどうだったのか。鹿児島県全体の大学進学状況も聞いてみたい。
→ 本校の詳細は HP 等に掲載。
- ・いじめや不登校の推移を聞けると今年の現状が把握できてより良いと思う。
- ・子どもが減少する中、選ばれる学校にするためにはどうするか。
鶴丸に進学したその先の夢を実現していく姿を見せてほしい。
- ・先生方の想い、学校の想いを踏まえて、PTA でも尽力していきたい。

6 今後の予定

(1) 第2回委員会(11月中旬)

中間評価、学校行事等の参観、施設見学、意見交換

(2) 第3回委員会(2月中旬)

自己評価(最終)評価、教職員との対話、意見交換